

海外留学支援制度(大学院学位取得型) 2018-2019派遣学生の手引き 様式集〔個人応募〕

様式		用件	様式に添付する資料		提出時期	手引き掲載頁
			派遣学生作成添付書類	留学先大学等の発行(作成)書類		
様式①	誓約書	採用に係る誓約書			平成30年3月26日まで	3
様式②	健康診断書	健康状態の診断			平成30年3月26日まで	3
様式③	支援開始に係る届出	支援開始に係る届			留学開始月の前月20日まで	6
様式④	授業料納付額申請書／報告書	授業料額確定	授業料請求書・領収書和訳	授業料請求書・領収書	【申請】 ・(新規採用者)留学開始月の前月20日まで ・(継続採用者)送金月の前月20日まで ※授業料(年額又は学年初学期の額)確定時 【報告】授業料を納付したとき	6 8
様式A	銀行口座届出書	振込口座の設置・変更			・平成30年3月26日まで ・口座を変更するとき	3
様式B	奨学金支給申請書(様式B-1)	奨学金等の振込依頼	在籍確認書(様式B-2)	在籍確認書(様式B-2証明欄)	毎月の決められた期日まで	7
様式C	支援・採用辞退届	支援・採用辞退			辞退が判明したとき	13
様式D	期間変更申請書	期間変更		入学許可書の写し等の根拠資料(和訳添付)	留学(支援)期間を変更するとき(原則は認めない)	13
様式E	資格及び条件変更申請書	①留学先大学の変更	変更申請書	・当初申請大学の入学許可書の写し(和訳添付)又は入学不許可についての文書の写し(和訳添付) ・変更先大学の入学許可書の写し(和訳添付)	留学先大学を変更する場合(原則は認めない)	13
			願書			
			経歴書			
留学計画書						
		②返納等の調整	授業料納付額申請書／報告書(様式④)	授業料に関する書類等	支給済み奨学金又は授業料に返納が生じるとき	
		③その他の変更	提出済み申請書類の写しの変更部分に朱記・訂正したもの		採用時の各種登録内容に変更が生じた場合	
様式F	派遣学生留学先国一時不在届	①学位取得のための現地調査		期間・学位取得のために必要であることが証明出来る文書(和訳添付)	月の初めから終わりまで1か月以上不在することになった場合	12
		②帰省、旅行等①以外				
様式G	留学状況報告書(様式G-1)	留学状況の報告	学修・研究状況に関する報告書(様式G-2)	成績証明書(和訳添付) 指導教員作成の留学評価書(写)(様式G-3)	6か月に1度	15
			本人又は推薦者作成の文書(研究遂行の可能性が無いと思われる場合に提出)			
様式H	留学成果報告書(様式H-1)	留学成果の報告	学修・研究成果に関する報告書(様式H-2)	学位記(写) 成績証明書(和訳添付)	支援期間終了後1か月以内	16

西暦 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

氏 名

個人番号

誓 約 書

- 1 私は、海外留学支援制度（大学院学位取得型）留学生（以下、「派遣学生」という。）として、次の事項を守ることを誓約します。
- (1) この制度の目的を理解し、留学先大学における学則に従い、教育研究活動に専念すること。
 - (2) 留学先・現地調査先の国・地域の法令、社会秩序等に違反しないこと。
 - (3) 派遣学生の信用を傷つけ、又は不名誉となるような行為はしないこと。
 - (4) 日本学生支援機構から支給される奨学金等の額を超えて必要とする金額については、自己の責任において支弁すること。
 - (5) 留学先・現地調査先において債務を負った際は、自己の責任において弁済すること。
 - (6) 留学先の国・地域の治安・状況によっては、機構が留学の中止・延期または帰国勧告を決定することがあるので、これらの事態等が生じることを理解し、機構の指示があった場合は速やかに応じること。その際、中止・延期または帰国勧告に伴い発生する違約金、追加費用等については派遣学生が負担すること。
 - (7) 支援期間中は留学先での日本のPR等に協力し、支援終了後においても、留学経験を踏まえた社会貢献活動を行うこと。
 - (8) 支援期間中及び支援終了後最低5年にわたって、状況調査をはじめとした本制度の各種フォローアップに協力すること。
- 2 上記の事項に違反した場合、募集要項の申請資格に掲げる条件を備えなくなった場合、申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、留学目的達成の見込みがないと判断された場合、留学先大学において懲戒処分を受けるなど留学の中止が適当であると認められた場合は、派遣学生の採用取消し、奨学金等の支給停止を受け、機構より請求がなされた場合には、遵守しなかった時点からの奨学金等を返納することに異存ありません。

氏 名

印

(留意事項)

- ・機構は本誓約書を提出しない者に対し、派遣学生としての採用を取り消します。
- ・留学期間中の疾病、災害等に係る保障については、保険に加入する等、各自の責任において処置してください。
- ・派遣学生が誓約書に反したと機構が判断した場合は、当該派遣学生の実名等を公表することがあります。

(注) 氏名欄は自署の場合は押印を省略できますが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印してください。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

健康診断書

CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名 Name: _____, _____ 男 Male 生年月日 Date of Birth: _____ 年齢 Age: _____
Family name, First name/Middle name 女 Female

1. 身体検査
Physical Examinations

(1) 身長 Height _____ cm 体重 Weight _____ kg

(2) 血圧 Blood Pressure _____ mm/Hg ~ _____ mm/Hg 血液型 Blood Type

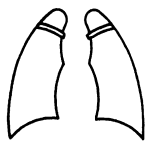
A	B	O	+
			-

 脈拍 Pulse 整 regular 不整 irregular

(3) 視力 Eyesight: (R) _____ (L) _____ (R) _____ (L) _____ 色覚異常の有無 Color blindness 正常 normal 異常 impaired
裸眼 without glasses 矯正 with glasses or contact lenses

(4) 聴力 Hearing: 正常 normal 低下 impaired 言語 Speech: 正常 normal 異常 impaired

2. 受診者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること（6ヶ月以上前の検査は無効。）
Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest x-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 Lung: 正常 normal 異常 impaired

心臓 Cardiomegaly: 正常 normal 異常 impaired

← Date _____
Film No. _____

異常がある場合
心電図 Electrocardiograph: 正常 normal 異常 impaired

Describe the condition of applicant's lung.

3. 現在治療 Disease Treated at Present Yes (Disease: _____) No

4. 既往症 Past history: Please indicate with + or - and fill in the date of recovery

Tuberculosis..... (. .) Malaria..... (. .) Other communicable disease..... (. .)
Epilepsy..... (. .) Kidney Disease..... (. .) Heart Diseases..... (. .)
Diabetes..... (. .) Drug Allergy..... (. .) Psychosis..... (. .)
Functional Disorder in extremities..... (. .)

5. 検査 Laboratory tests
検尿 Urinalysis: glucose (), protein (), occult blood ()

赤沈 ESR: _____ mm/Hr, WBC count: _____ /cmm 貧血
※赤沈は必須ではありません。

Hemoglobin: _____ gm/dl, GPT: _____
anemia

6. 診断医の印象を述べて下さい。
Please describe your impression.

7. 受診者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？
In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies abroad?
yes no

日付 Date: _____ 署名 Signature: _____

医師氏名 Physician's Name in Print: _____
検査施設名 Office/Institution: _____
所在地 Address: _____

【記入例】

西暦 2018 年 7 月 20 日

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

氏 名 機構 太郎

個人番号 L1999999000

支援開始に係る届出書

以下のとおり支援開始に必要な留学情報を届け出るとともに必要書類等を提出します。

1. 留学先大学
-
- 第1希望
-
- 第2希望
-
- 応募申請時記載大学以外 (変更申請済み)

(1) 大学名 (日本語) : _____

(2) 留学先の国名及び都市名 : _____

(3) 入学許可書 応募申請時提出済み 本紙に添付して提出 (和訳も添付)
※条件付きではなく無条件の入学許可書であること(4) 支援期間の変更有無 : なし あり (期間変更届出済み)

在籍期間 西暦 2018 年 9 月 ~ 西暦 2021 年 9 月

支援期間 西暦 2018 年 9 月 ~ 西暦 2021 年 8 月
※機構から採用されている期間を記載 (期間変更を承認された者は変更後期間)

- (5) 学事日程等の状況

- ・開始日 (正式な課程の授業開始日) : 2018年9月10日
- ・学期の詳細 :
 - 例) 4学期制
 - ① 2018-19秋 (2018年9月~11月)
 - ② 2018-19冬 (2018年12月~2019年2月)
 - ③ 2018-19春 (2019年3月~5月)
 - ④ 2018-19夏 (2019年6月~8月) ※授業履修は必須ではない
- ・授業料納付時期 :
 - 例) 通年一括納付 (2018年9月頃納付予定)

2. その他提出物 (該当者のみ提出)

(1) 学士の学位を証明する書類 (卒業証明書等) ※応募申請時学部生の者のみ要提出
 応募申請時提出済み 本紙に添付して提出 (和訳も添付)(2) 退職証明書※応募申請時「在職中」の者
 該当なし (提出不要) 本紙に添付して提出 (和訳も添付)

(留意事項)

- ・本紙を「支援開始日」の属する月の前月20日までに提出してください。(9月22日開始の場合は8月20日)
- ・留学先変更及び期間変更等の変更については、承認を得た上で本紙を提出してください。
- ・本紙の提出確認がない場合、奨学金の支給開始ができませんので、ご注意ください。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

西暦 _____ 年 ____ 月 ____ 日

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

氏 名 _____

個人番号 _____

支援開始に係る届出書

以下のとおり支援開始に必要な留学情報を届け出るとともに必要書類等を提出します。

1. 留学先大学 第1希望 第2希望 応募申請時記載大学以外 (変更申請済み)

(1) 大学名 (日本語) : _____

(2) 留学先の国名及び都市名 : _____

(3) 入学許可書 応募申請時提出済み 本紙に添付して提出 (和訳も添付)
※条件付きではなく無条件の入学許可書であること

(4) 支援期間の変更有無 : なし あり (期間変更届出済み)

在籍期間 西暦 _____ 年 ____ 月 ~ 西暦 _____ 年 ____ 月

支援期間 西暦 _____ 年 ____ 月 ~ 西暦 _____ 年 ____ 月

※機構から採用されている期間を記載 (期間変更を承認された者は変更後期間)

(5) 学事日程等の状況

- ・ 開始日 (正式な課程の授業開始日) :
- ・ 学期の詳細 :

- ・ 授業料納付時期 :

2. その他提出物 (該当者のみ提出)

(1) 学士の学位を証明する書類 (卒業証明書等) ※応募申請時学部生の者のみ要提出
 応募申請時提出済み 本紙に添付して提出 (和訳も添付)

(2) 退職証明書※応募申請時「在職中」の者
 該当なし (提出不要) 本紙に添付して提出 (和訳も添付)

(留意事項)

- ・ 本紙を「支援開始日」の属する月の前月20日までに提出してください。(9月22日開始の場合は8月20日)
- ・ 留学先変更及び期間変更等の変更については、承認を得た上で本紙を提出してください。
- ・ 本紙の提出確認がない場合、奨学金の支給開始ができませんので、ご注意ください。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

【記入例】

授業料納付額申請書／報告書

1. 支給対象者

個人番号	姓	名	支援期間	支援年数(学年数)
L18111111000	機構	太郎	2018年9月 ~ 2021年8月	3年

■申請

2. 授業料(年額)申請

2018年7月20日

①1学年の授業料対象期間		②免除・補助		③本人負担額年額				
年月(最長12か月)	月数	有無	詳細	通貨単位	通年現地額	証拠書類	一括・分納	確定・概算
2018年9月 ~ 2019年8月	12	有	例)TAIによる授業料免除(1学年目)	USD	0	授業料負担なし証拠	支払なし	確定

※年間授業料が確定してから、請求書等の納付額根拠とともに提出してください。

※学期毎の請求により通年の額が請求書で示せない場合は、1学期分の請求書等を根拠として示した上で、概算で通年額を申請してください。

※大学ホームページの写しや、入学許可書は根拠資料となりません。

※支援額は、本紙による申請内容に基づき、機構が決定します(会計年度及び学年毎上限250万円の範囲内)

※本紙による申請内容の確認を行った後に機構から支援確定内容を通知します。

※免除等により、本人が負担していない授業料金額は申請額に含みません。

※「授業料」(tuition)以外の諸費用は授業料として申請できません。

※請求書等の証拠書類は該当箇所をわかりやすくマーカー等で示し、和訳も付してください。

※請求書のみで申請は可能です。ただし、納付後には速やかに領収書を提出する必要があります。

■報告

3. 授業料(納付)報告

2019年6月5日

対象学年(支援年次)	年月(最長12か月)	通貨単位	最終確定額(現地額)	請求書提出	領収書提出	調整有無と内容	
1学年目	2018年9月 ~ 2019年8月	USD	1,000	今回提出	今回提出	有	増額
【詳細】請求・納付スケジュール毎に記載							
学期等(及び対象時期)	通貨単位	納付額(現地額)	請求書提出	領収書提出	納付日		
2018-19夏	USD	1,000	今回提出	今回提出	平成30年5月		

※1学年分の授業料納付報告を累積します。必要に応じて行を増やしてください。

※請求書・領収書は、該当箇所をわかりやすく示し、和訳をした上で提出してください。

※申請額と納付額に差が生じた場合は、調整が必要です。返納の必要が生じた場合、本紙とともに様式Eを提出してください(追給については、様式Eは不要です)。

※初学年だけでなく、支援期間を通じて請求書・領収書の提出は必要です。

授業料納付額申請書／報告書

1. 支給対象者

個人番号	姓	名	支援期間	支援年数(学年数)
			～	

■申請

2. 授業料(年額)申請

年 月 日

①1学年の授業料対象期間		②免除・補助		③本人負担額年額				
年月(最長12か月)	月数	有無	詳細	通貨単位	通年現地額	証拠書類	一括・分納	確定・概算
～								

※年間授業料が確定してから、請求書等の納付額根拠とともに提出してください。

※学期毎の請求により通年の額が請求書で示せない場合は、1学期分の請求書等を根拠として示した上で、概算で通年額を申請してください。

※大学ホームページの写しや、入学許可書は根拠資料となりません。

※支援額は、本紙による申請内容に基づき、機構が決定します(会計年度及び学年毎上限250万円の範囲内)

※本紙による申請内容の確認を行った後に機構から支援確定内容を通知します。

※免除等により、本人が負担していない授業料金額は申請額に含みません。

※「授業料」(tuition)以外の諸費用は授業料として申請できません。

※請求書等の証拠書類は該当箇所をわかりやすくマーカー等で示し、和訳も付してください。

※請求書のみで申請は可能です。ただし、納付後には速やかに領収書を提出する必要があります。

■報告

3. 授業料(納付)報告

年 月 日

対象学年(支援年次)	年月(最長12か月)	通貨単位	最終確定額(現地額)	請求書提出	領収書提出	調整有無と内容	
	～						
【詳細】請求・納付スケジュール毎に記載							
学期等(及び対象時期)	通貨単位	納付額(現地額)	請求書提出	領収書提出	納付日		

※1学年分の授業料納付報告を累積します。必要に応じて行を増やしてください。

※請求書・領収書は、該当箇所をわかりやすく示し、和訳をした上で提出してください。

※申請額と納付額に差が生じた場合は、調整が必要です。返納の必要が生じた場合、本紙とともに様式Eを提出してください(追給については、様式Eは不要です)。

※初学年だけでなく、支援期間を通じて請求書・領収書の提出は必要です。

西暦

年 月 日

銀行口座届出書（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名 印

連絡人氏名

海外留学支援制度（大学院学位取得型）による奨学金及び授業料の支給については、下記の口座に振り込み願います。

記

(フリガナ)

金融機関名 _____ 銀行 _____ 店
(金融機関コード: _____) 信用金庫 (店舗コード: _____)

預金種類 _____ 預金

(フリガナ)

口座名義 _____

口座番号 _____

(注) 原則、国内の本人の口座を記載してください。

(注) 口座名義はフリガナがないと送金できません。フリガナを忘れず記入してください。

(注) 氏名欄は自署の場合は押印を省略できますが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印してください。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

海外留学支援制度（大学院学位取得型）奨学金支給申請書（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名

印

連絡人氏名

標記について、下記のとおり、奨学金の支給を申請します。なお、留学先における当該月の在籍は別添にて証明します。

記

1. 支給申請奨学金： _____ 円 （ _____ 月分 ）

2. 留学先国・地域： _____

3. 留学先大学名： _____

4. 当該月在籍確認：別添様式B-2

（注）月の初めから終わりまで学位取得のために必要な現地調査により留学先国・地域を一時不在にする場合は、機構に報告の上、承認された地域区分で奨学金を申請してください。その場合、「留学先国・地域」欄には当該調査先国・地域及び都市名を記入してください。また、調査先国・地域及び都市の区分の奨学金額を申請してください。

（注）氏名欄は自署の場合は押印を省略できますが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印してください。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

Confirmation of Enrollment

在籍確認書

(GRADUATE SCHOLARSHIP FOR DEGREE SEEKING STUDENTS)

独立行政法人日本学生支援機構 理事長殿

(To: President, Japan Student Services Organization (JASSO))

海外留学支援制度(大学院学位取得型)奨学金等受給に係る在籍確認書を提出いたします。

1.Period of Scholarship (該当月):

_____, _____
(Month) (Year)

2.Student Name (氏名):

3.Signature (署名):

4.University Name (大学):

5.Academic Status (所属) :

6.JASSO Number (個人番号):

上記の者が本学に在籍していることを証明します。

This is to certify that the above student has enrolled in our university.

Endorsement by Adviser (指導教員)

Date (日付):

Adviser's Name (指導教員氏名):

Signature (署名):

Title/Occupation (役職):

Institution (所属):

TEL (電話):

Email Address (Eメール) :

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

西暦 年 月 日

海外留学支援制度（大学院学位取得型）支援・採用辞退届（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名 印

連絡人氏名

標記について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 辞退者の氏名： _____
2. 個人番号： _____
3. 学問分野： 自然科学分野 / 人文・社会科学分野
4. 応募枠（取得予定学位）： 修士 / 博士
5. 本制度の支援期間： _____ 年 _____ 月 ～ _____ 年 _____ 月（ _____ か月）
6. 留学先大学の所在する国・地域名： _____
7. 留学先大学名（日本語名）： _____
8. 支援・採用辞退の理由： _____ プルダウンから選択してください _____

(辞退理由詳細：具体的に記載してください。)

(注) 分野、応募枠は該当を○で囲ってください。

(注) 氏名欄は自署の場合は押印を省略できますが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印してください。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

西暦 年 月 日

海外留学支援制度（大学院学位取得型）期間変更申請書（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名 印

連絡人氏名

標記について、下記のとおり申請します。

記

1. 期間変更者氏名：_____

2. 留学先大学の所在する国・地域：_____

3. 留学先大学名（日本語名）：_____

4. 支援期間変更の内容：

変更前の期間 西暦 ____年__月～ ____年__月（ ____か月間）

↓

変更申請する期間 西暦 ____年__月～ ____年__月（ ____か月間）

5. 支援期間変更の理由： 根拠資料を添付しました。

(注) 留学先大学の入学許可書の写し等の根拠資料（和訳含む）を添付すること。

なお、変更申請する支給月数が変更前の決定月数を超えない期間で申請すること。

(注) 氏名欄は自署の場合は押印を省略できるが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印すること。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

西暦 年 月 日

海外留学支援制度（大学院学位取得型）資格及び条件変更申請書

（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名 印

連絡人氏名

標記について、下記のとおり申請します。

記

1. 変更対象者の氏名 _____
2. 個人番号： _____
3. 学問分野： 自然科学分野 / 人文・社会科学分野
4. 応募枠（取得予定学位）： 修士 / 博士
5. 留学先大学名（日本語名） _____
6. 留学先大学の所在する国・地域： _____
7. 資格及び条件に係る変更の内容： （留学先変更／授業料額変更／その他変更）

(詳細)

- (注) 採用時の登録情報に変更が生じた場合は、速やかに申請すること。
- (注) 「3. 学問分野」及び「4. 応募枠（取得予定学位）」は変更できないので注意すること（※変更する場合、支援を辞退する必要がある）。
- (注) 当該変更により、募集要項に掲げる要件を満たさなくなった場合には、支援は終了となるので注意すること。
- (注) 提出済み申請書類の写しの変更部分に朱記・訂正したものを添付すること。
なお、申請時と異なる留学先大学への留学を希望する場合、変更対象者からの変更申請書（様式任意）、願書、経歴書、留学計画書、入学許可書の写し及び変更先大学に関する書類（和訳添付）を添付すること。
本様式5, 6については変更前の情報を記入すること。
- (注) 授業料額の変更に際しては、必ず領収書等の証拠書類及び様式④も提出すること。

海外留学支援制度（大学院学位取得型）に係る留学状況報告書（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名

印

連絡人氏名

標記について、下記のとおり報告します。

記

留学先大学名		国・地域名	
留学先大学での在籍課程	—プルダウンから選択—	分野（自然／人社）	—プルダウンから選択—
留学予定期間（西暦）	年 月～	年 月	
支援期間（西暦）	年 月～	年 月	

研究内容・学習状況等

(注) 派遣学生本人が作成する「学修・研究状況に関する報告書(G-2)」及び留学先大学が発行する「成績証明書」を添付すること。

※「成績証明書」を添付できない場合は、その理由書を添付すること（様式任意）。

(注) 留学先の指導教官が作成する留学評価書（G-3）について、期日までに指導教官から機構に直接提出するよう伝え提出に遅れ等がないようにすること。

(注) 氏名欄は自署の場合は押印を省略できるが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印すること。

(注) 「留学先大学での在籍課程」及び「分野」はプルダウンから選択すること。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

年 月 日

学修・研究状況に関する報告書

1. 氏名	
2. 留学先国	
3. 留学先大学及び指導教員	
4. 在籍課程	
5. 研究分野	
6. 研究概要	別紙(A4判2枚程度にまとめること)参照
7. 今後の留学方針	
8. 報告書の該当期間	年 月 ~ 年 月

9. 8. 該当期間中の各受講科目名及びこれに係る週当たり授業時間数並びに取得予定或いは取得済単位数

受講科目	週当たり授業時間数	取得単位

(注)本様式の掲げる項目が全て明記されていれば、任意の様式で作成しても構いません。

EVALUATION LETTER

The Student Exchange Support Program (Graduate Scholarship for Degree Seeking Students)

海外留学支援制度(大学院学位取得型) 留学評価書

1. Student Name (氏名): _____

2. Current Academic Status : _____
(現在の所属)

3. Planned Research/Study Period (留学期間) : From _____ To _____

4. Evaluation Items (評価項目):

Please check appropriate boxes. (下記事項を記入(□にはチェック)してください。)

1) Academic progress of the research / study (研究・学習の進捗状況について)

 ① Ahead of Schedule ② As planned ③ Behind schedule ④ Not progress at all
計画以上 計画通り 遅れている 進んでいない ⑤ Because he/she has just started research/study, evaluating him/her at this time is difficult.
研究開始から間もないため、現時点では評価は難しい。

2) Method of research / study (研究・学習方法について)

 ① Appropriate ② Minor improvement required ③ Inadequate and major improvement required
妥当 多少の見直しが必要 見直しが必要 ④ Because he/she has just started research/study, evaluating him/her at this time is difficult.
研究開始から間もないため、現時点では評価は難しい。

3) Possibility of obtaining the degree (学位取得の可能性について)

 ① High ② Possible ③ Possible with effort ④ Low ⑤ Impossible
間違いなく可能 可能 可能だが努力が必要 可能性は低い 可能性はない ⑥ Because he/she has just started research/study, evaluating him/her at this time is difficult.
研究開始から間もないため、現時点では評価は難しい。Please write the reason of the answer regarding question 3). Use a separate page if necessary.
(理由を記入してください(別紙(様式任意)添付可。))

4) Any further comments regarding this evaluation, please write in the space below. Use a separate page if necessary. (特記事項をご記入ください(別紙(様式任意)添付可。))

Date (日付): _____

Evaluator's Name (評価者氏名): _____

Signature (署名): _____

Title/Occupation (役職): _____

Institution (所属): _____

Address (住所): _____

TEL (電話): _____

Email Address (Eメール): _____

海外留学支援制度（大学院学位取得型）に係る留学成果報告書（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名 印

連絡人氏名

標記について、下記のとおり報告します。

記

留学先大学名		国・地域名	
取得学位名（予定含む）		学位取得に係る年数 （総年数）	
留学先大学での在籍課程	—プルダウンから選択—	分野（自然／人社）	—プルダウンから選択—
留学期間（西暦）	年 月～	年 月	
支援期間（西暦）	年 月～	年 月	
研究・学習の進捗状況	—プルダウンから選択—		
学位取得状況	—プルダウンから選択—		
	詳細説明：		
学位記提出状況	—プルダウンから選択—	本紙とともに提出できない場合の提出予定時期	

研究内容・学習成果等

--

（注）派遣学生本人が作成する「学修・研究成果に関する報告書（様式H-2）」、「取得学位記」（写し）及び成績証明書を添付すること。

（注）「留学先での在籍課程」、「分野」、「学位取得状況」、「研究・学修の進捗状況」及び「学位記提出状況」欄はプルダウンから選択すること。

（注）氏名欄は自署の場合は押印を省略できるが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印すること。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。

年 月 日

学修・研究成果に関する報告書

1. 氏名	
2. 留学先国	
3. 留学先大学及び指導教員	
4. 研究分野	
5. 研究概要	別紙(A4判2枚程度にまとめること)参照
6. 留学終了後の所感	
7. 今後の方針	
8. 留学期間	年 月 ~ 年 月
9. 報告書の該当期間 (支援期間)	年 月 ~ 年 月

(注)本様式の掲げる項目が全て明記されていれば、任意の様式で作成しても構いません。

西暦 年 月 日

海外留学支援制度（大学院学位取得型）奨学金等受給証明書発行依頼
（個人応募用）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

個人番号

氏名

印

連絡人氏名

標記について、下記のとおり受給証明書の発行を依頼します。

記

1. 支給対象者の氏名（漢字）_____
2. 支給対象者の氏名（英字）_____
3. 国籍： _____
4. 留学先大学の所在する国・地域：_____
5. 留学先大学名（英字） _____
6. 発行依頼理由：

- （注）発行に時間を有する場合がありますため、事由が生じた場合は速やかに提出すること。
- （注）氏名は必ず漢字と英字両方を記載すること。
- （注）奨学金（月額）及び授業料（上限額）については、指定がない場合、日本円で記載する。
- （注）発行した受給証明書（1部）は国内連絡人住所に郵送します。
- （注）氏名欄は自署の場合は押印を省略できるが、ワープロ等で記入した場合は、必ず捺印すること。

※ご記入いただいた情報は、本制度実施のため利用されます。大学・在外公館・行政機関・公益法人等に対し、必要に応じて提供され、その他の目的には利用されません。